

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社
代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。落ち葉が風に舞う季節となりました。お元気にお過ごしでしょうか。

後進を育てるといのは何処の企業にも課題だと思いますが、先日旅立った名優が言った言葉が印象に残りました。「時が来たら誇りを持って脇にどけ」まだまだ発展途中では御座いますが心に刻まなければならぬと感じました。向寒のみぎり、お風邪にはお気をつけてお過ごしください。

サンライズの物語

皆で心を支える大切さ

けがによる失意から勇気づける物語



その方は自宅で胸椎圧迫骨折になってしまった方でした。入院中と聞き病院を訪問すると今まで日本舞踊を習っており仲間と発表会を控えた矢先に転倒してしまったとの事。

病院ではサークルの歩行器を使用しておられました。が患部の痛みや今の自分自身に意気消沈、まさか自分がこんな事になるとは想像もしていなかったと涙を流されておりました。

「自宅へ戻ったら日本舞踊の再開を目標にしましょう」と言葉を掛けても「もう駄目だよ」との答え・・・そんな中、退院へ向けて看護師長から「胸椎圧迫骨折は患部だけがもろくなっている訳ではなく他の骨も弱くなっているんですよ。今から骨を補強する為にできる事は食事をしっかり摂る事、日光を浴びる事です。今の食事が10年後の自分の身体を作るんですよ。諦めずに前を向かなければ駄目です」と言われたのです。

話を聞いた時の眼の輝きを忘れることができません。自宅へ戻り近所へ散歩をするのを日課にし、毎日煮干をかじって過ごされたのです。

1ヶ月後その方にお会いすると何と福祉用具の方に杖の使い方を習い、とても上手く使っておられました。そして「もう一度日本舞踊を踊るんだ」と力強い言葉。

私達介護職が一人一人の心に寄り添い目標を立てても上手く行かない事が多い中、その方を取り巻く関係者の援護射撃が必要なのだと思えて感じました。地域のケアネットワークの大切さに気付いたのです。職種に関係なく地域が一人一人を支えなければなりません。

サンライズのデイサービス陽光だより



【介護職】後藤 凌輔

サンライズのデイサービス陽光の介護職員の後藤 凌輔です、よろしくお願いいたします。

今年、高校を卒業し初めて社会人として働いています。高校では3年間サッカーをしていました。

まだまだ分からないことだらけで、皆さんにご迷惑をおかけすることが沢山ありますが、一生懸命頑張っていきますので今後ともよろしくお願いいたします。
【入社10/1】 【血液型A型】



井上から
エール!

まだまだ、気が利かないところ至らない部分がありますが彼の成長を暖かく見守っていただければと思います。

介護に役立つ書籍紹介

おばちゃん介護道

独身・還暦作家、91歳母を見る

著：山口恵以子

シモの世話、食欲低下に緊急搬送――

元祖「食堂のおばちゃん」作家、ただいま要介護2の母を老老介護中！

DV猫3匹にも振り回されつつ、笑いと愛情たっぷりの“朗朗”介護な毎日を綴った、新感覚“ガス抜き”エッセイ。



NEWS 今月のニュース

「通いの場」で介護予防

佐賀中部広域連合

住民が主体的に介護予防の教室を開く「通いの場」。佐賀中部広域連合は、教室によっては我流になっている運動や参加者の減少などの課題を受け、介護予防の推進員を派遣し、介護予防の効率性や継続性を高めようと取り組んでいる。

「通いの場」は高齢者が徒歩15分圏内で集える場所で体操や筋力トレーニング、会話などを楽しむ。中部広域連合が構成する佐賀、多久、小城、神埼、吉野ヶ里の4市1町では135カ所（昨年度末）が活動。派遣事業は4月から

実施し、9月末時点で述べ124回派遣した。

佐賀市の本庄団地公民館では9日、「にこにこ運動教室」があり、8人の住民が参加した。指導にあたったのは健康運動指導士の三谷誠さん（60）。三谷さんはメタボリックシンドロームを気にして食事を制限し過ぎていると指摘。タンパク質の摂取や、体重の変化を記録して痩せていないかを確認する必要性を指摘した。そのほか、ボールやゴムバンドを使った筋力トレーニング法を指導し、参加者は笑顔で体を動かした。

自治会長の中島雅博さん（70）は「普段しない運動もあって刺激になったので取り入れたい。

元気で助け合う地域の絆を広げていきたい」。派遣事業の担当者で同広域連合の橋本小百合さん（39）は「自分たちで楽しく続けられる活動のサポートをしていきたい。どこのエリアにも通いの場ができるようになれば」と話した。



<佐賀新聞

2018年11月14日(水) >

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>